

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和元年6月発行 112-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

ヤップの家庭でランチ会

『北村義雄ヤップ通信』第8回

JICAの青年海外協力隊員の住まいは、現地住民宅にホームステイすることになっています。こ



のため、青年隊員は寝食を現地の方と共にすることから、その家庭の様々なイベントや地域行事に参加体験しますので、交流が深まり現地での知識がシニア隊員に比べ、より豊富になります。なお、私のようなシニア海外協力隊員は、単独でアパートを借りて生活しています。



先日、青年隊員からホームステイ先でランチ会を行うとのお誘いがあり、招待してく



れた隊員を含めヤップ在住の7名全員が参加しました。日本料理をホームステイ先の方に紹介するのも一つの目的でしたので、シニアの女性隊員が主となり、女子の青年隊員に調理方法を伝授しながら作っていました。私



から見ると、まさに母親から娘への花嫁修業のようでした。

また、ホームステイ先の方からは鶏のバーベキューやタロイモなどの現地料理の提供がありました。ホームステイ先のご夫婦ですが、ご両人とも学校の先生ということもあり、日本の小学校教員である女子の青年隊員をホームステイさせていただいています。この隊員は現職参加で日本に帰ると小学校の先生として復帰します。

さて、話を戻しますが食事の間中ずっとご主人である先生が、ヤップの風習のことや東京に2年弱おられた当時の思い出話などを、我々に話しかけてくれました。私達は、ヤップでの任務などについて紹介したりしました。お話の中で、先生宅にホームステイしていて、ヤップでは算数を担当している青年隊員が、先生宅で授業に使う教材作りをしている様子について、「日本の先生は知識が豊富で、教材作りも優れていることに感心した」と話していました。

このご夫婦には、小学生の息子さんがおられ、私達に扇子を使った簡単な踊りを披露してくれました。そこで、私も簡単なお手玉遊びを見てもらいましたが、恥ずかしいのか、一緒に遊んでもらうところまではいきませんでした。次の機会があれば、一緒に遊んでもらえればと思っています。

(日本のお手玉の会副会長)